

# 山梨市住民意向調査 報告書

平成30年10月

## 目次

1. 調査概要	1
① 調査の目的	1
② 調査時期	1
③ 調査対象	1
④ 調査方法	1
⑤ アンケート内容	1
⑥ 回収結果	2
2. 回答者の属性	3
① 性別	3
② 年齢	3
③ 居住地区	5
④ 居住年数	6
⑤ 家族構成	7
⑥ 職業	8
⑦ 通勤・通学先	9
3. 山梨市の主な施策に対する今後の重要度	10
4. 第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」の指標等について	11
5. 第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」に示された指標等について	12
① 老後の備えの不安について	12
② スポーツイベントや体育行事への参加の有無について	13
③ かかりつけ医について	14
④ 商品やサービスの購入時の日ごろからトラブル回避を心がけている市民の割合	15
⑤ 65歳以上で日ごろ、食料品や日用品の買い物に不便を感じている人の割合について	16
⑥ 65歳以上高齢者のうち、生きがい、やりがいを感じる人の割合について	17
⑦ 65歳以上で訪問診療を受けている人の割合について	18
6. 防災について	19
① 災害に強いまちづくりを推進するための取り組みについて	19
② 災害に備えた公共施設等工事や整備の必要性・満足度について	20
③ 災害発生時の避難場所の認識について	21
④ 気象情報・防災情報を得る手段について	22
⑤ 災害に備えた食料・非常用持ち出し品の備蓄について	23
7. 今後の公共施設のあり方について	24
8. 男女共同参画について	25
9. 子育て環境について	27
① 住んでいる地域の子育てのしやすさについて	27
② 市の子育て支援体制に対する満足度	28
③ 学校環境に対する親の満足度	29
10. 生涯学習について	30
① 「生涯学習」という言葉の周知度について	30
② この1年に「生涯学習活動」を行った人の割合と目的	31
③ 地区公民館事業への参加状況について	32
④ 地区公民館利用状況	33
⑤ 地区公民館利用頻度	34
⑥ 地区公民館事業に参加しない・地区公民館を利用しない理由	35
⑦ 教室・講座の希望	36
11. アンケート調査票	37

## 1. 調査概要

### ① 調査の目的

山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とする。併せて、総合計画に示された指標についても確認する。

### ② 調査時期

アンケート期間：平成30年2月23日（金）～3月16日（金）

### ③ 調査対象

20歳以上の市民2,000人を対象とした。

標本抽出方法としては、市域を旧市町村3区域に分け、母集団の大きさに応じて住民基本台帳から層化無作為抽出を行った。

### ④ 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

### ⑤ アンケート内容

大項目	小項目	対応設問	設問数
山梨市の主な施策に対する今後の重要度	施策に対する今後の重要度	問1	26
第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」の指標等について	公共交通機関の満足度	問2	1
第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」に示された指標等について	老後の備えの不安	問3	1
	スポーツイベントや体育行事の参加の有無について	問4	1
	かかりつけ医について	問5	1
	商品やサービスの購入時等の日頃からのトラブル回避について	問6	1
	65歳以上で日ごろ、食料品や日用品の買い物に不便を感じている人の割合について	問7	1
	65歳以上高齢者のうち、生きがい、やりがいを感じる人の割合について	問8	1
防災について	65歳以上で訪問診療を受けている人の割合について	問9	1
	災害に強いまちづくりを推進するための取り組みについて	問10	11
	災害に備えた公共施設等工事や整備の必要性・満足度について	問11	5
	災害発生時の避難場所の認識について	問12	1
	気象情報・防災情報を得る手段	問13	1
今後の公共施設のあり方について	災害に備えた食料・非常用持ち出し品の備蓄	問14	1
今後の公共施設のあり方について	公共施設の整備の進め方について	問15	1
男女共同参画について	男女共同参画について	問16	8
子育て環境について	住んでいる地域の子育てのしやすさについて	問17	1
	市の子育て支援体制に対する満足度	問18	1
	学校環境に対する親の満足度	問19	1
生涯学習について	「生涯学習」という用語の周知度	問20	1
	この1年に「生涯学習活動」を行った人の割合と目的	問21	1
	地区公民館事業への参加状況	問22	1
	地区公民館利用状況	問23	1
	地区公民館利用頻度	問24	1
	地区公民館事業に参加しない・地区公民館を利用しない理由	問25	1
	教室・講座の希望	問26	1

⑥回収結果

送付数：2,000

有効回収数：852

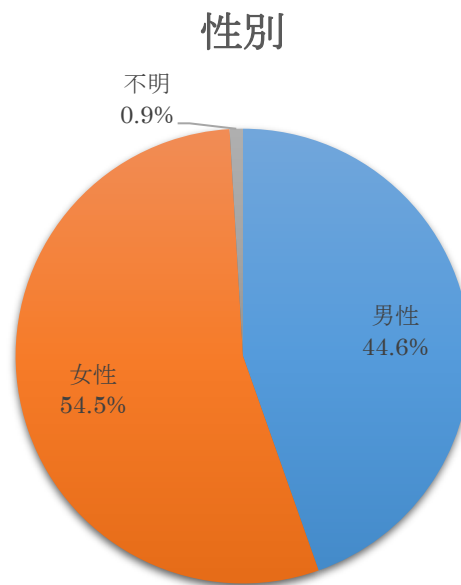
有効回収率：42.6%

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合もあります。

## 2. 回答者の属性

### ①性別

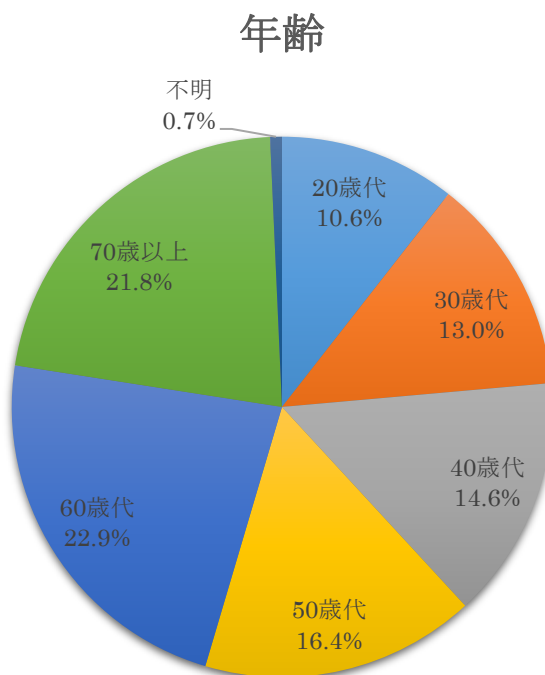
今回のアンケート調査で回答が得られた 852 人のうち、「男性」は 44.6%、「女性」は 54.5%であった。



カテゴリ	件	%
男性	380	44.6%
女性	464	54.5%
不明	8	0.9%
計	852	100.0%

## ② 年齢

今回のアンケート調査に回答した市民の年齢構成は、「60歳代」(22.9%)が最も多く、以下「70歳以上」(21.8%)、「50歳代」(16.4%)、「40歳代」(14.6%)と続いた。一方、「20歳代」(10.6%)は最も低い割合であった。

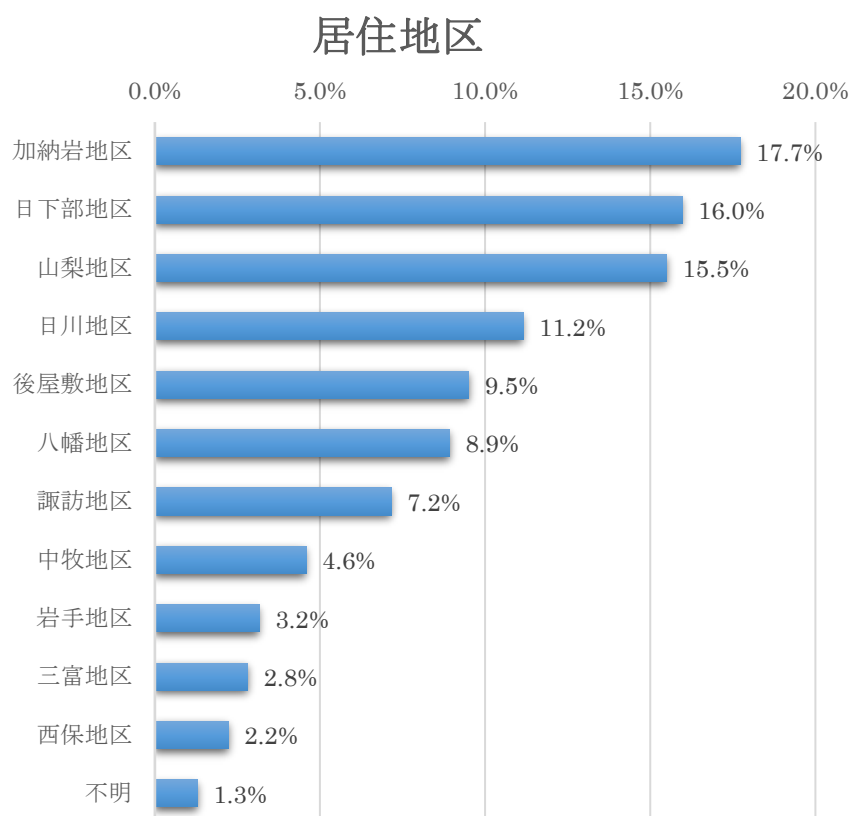


カテゴリ	件	%
20歳代	90	10.6%
30歳代	111	13.0%
40歳代	124	14.6%
50歳代	140	16.4%
60歳代	195	22.9%
70歳以上	186	21.8%
不明	6	0.7%
計	852	100.0%

※平成30年3月1日現在

### ③居住地区

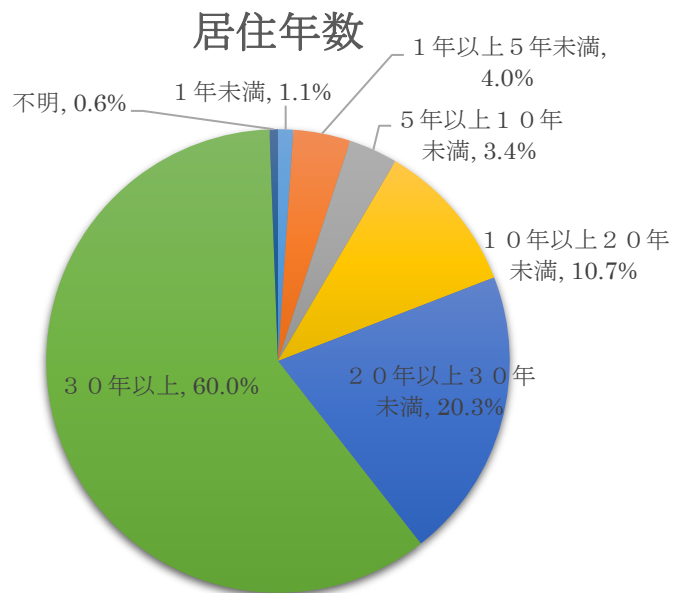
今回のアンケート調査に回答した市民の居住地の割合は、「加納岩地区」(17.7%)最も多く、以下「日下部地区」(16.0%)、「山梨地区」(15.5%)、「日川地区」(11.2%)、「後屋敷地区」(9.5%)と続いた。



カテゴリ	件	%
加納岩地区	151	17.7%
日下部地区	136	16.0%
山梨地区	132	15.5%
日川地区	95	11.2%
後屋敷地区	81	9.5%
八幡地区	76	8.9%
諏訪地区	61	7.2%
中牧地区	39	4.6%
岩手地区	27	3.2%
三富地区	24	2.8%
西保地区	19	2.2%
不明	11	1.3%
サンプル数	852	100.0%

#### ④居住年数

今回のアンケート調査に回答者した市民の本市への居住年数は、「30年以上」(60.0%)が最も多かった。以下「20年以上30年未満」(20.3%)、「10年以上20年未満」(10.7%)と続いた。居住年数が10年以上の回答者が91.0%を占めている。

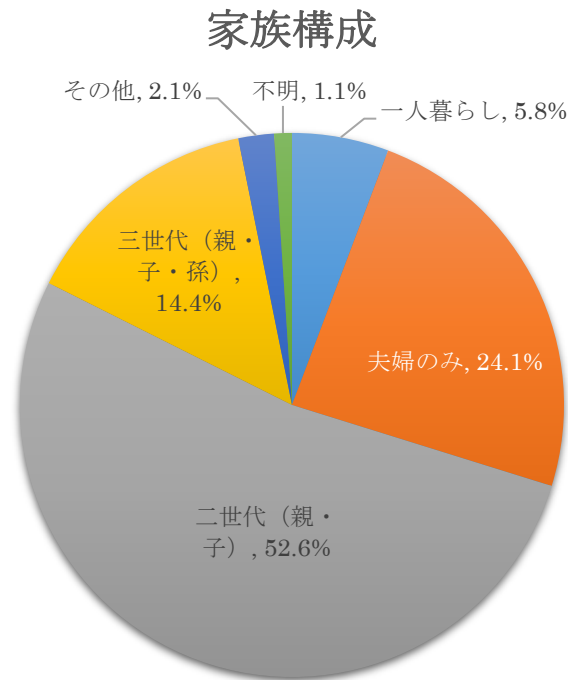


カテゴリ	件	%
1年未満	9	1.1%
1年以上5年未満	34	4.0%
5年以上10年未満	29	3.4%
10年以上20年未満	91	10.7%
20年以上30年未満	173	20.3%
30年以上	511	60.0%
不明	5	0.6%
計	852	100.0%



### ⑤家族構成

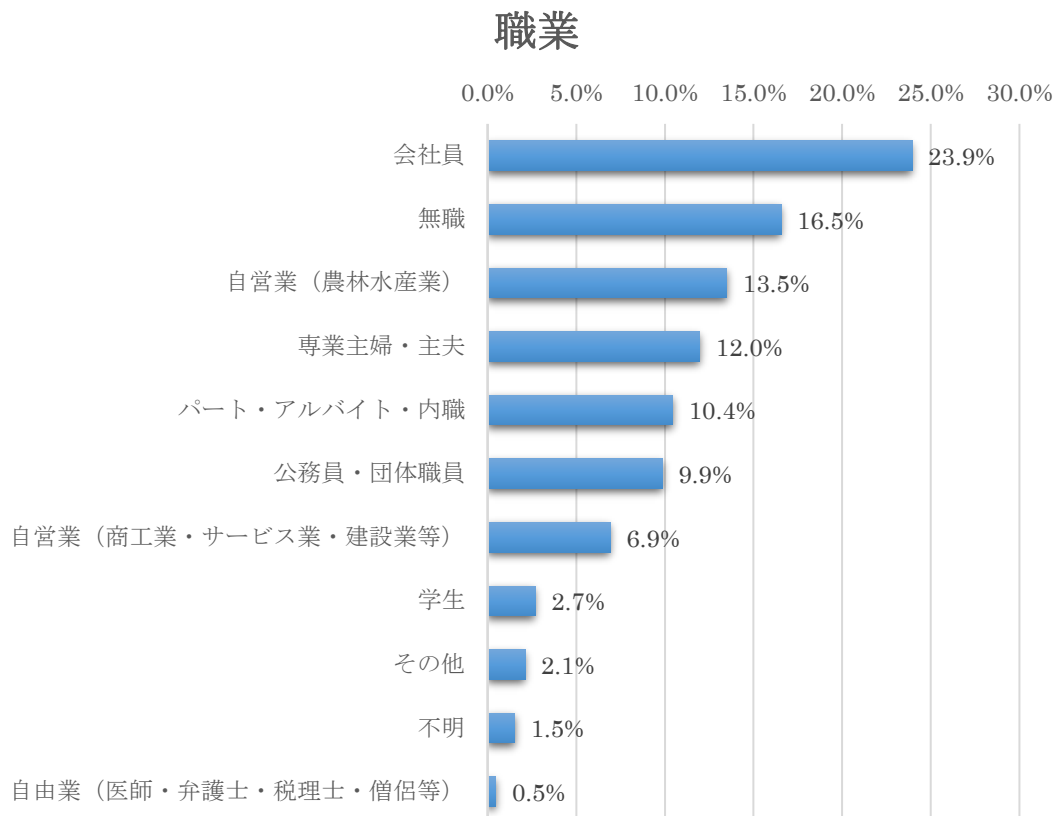
今回のアンケート調査に回答した市民の家族構成は、「二世代（親・子）」（52.6%）が最も多かった。以下、「夫婦のみ」（24.1%）、「三世代（親・子・孫）」（14.4%）、「一人暮らし」（5.8%）と続いた。



カテゴリ	件	%
一人暮らし	49	5.8%
夫婦のみ	205	24.1%
二世代(親・子)	448	52.6%
三世代(親・子・孫)	123	14.4%
その他	18	2.1%
不明	9	1.1%
計	852	100.0%

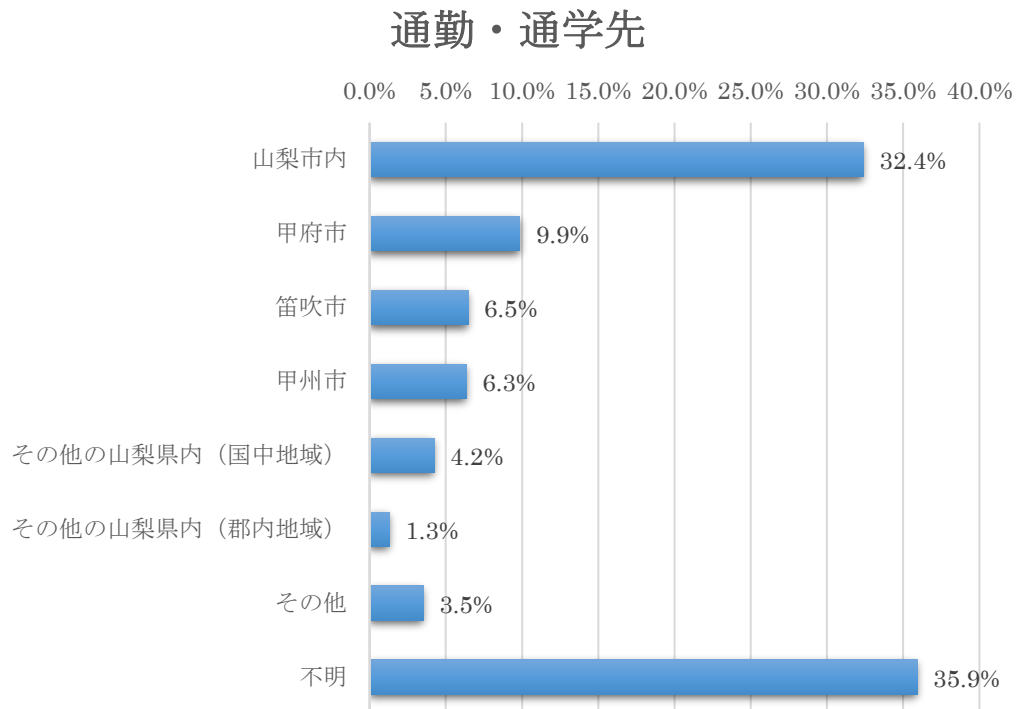
## ⑥職業

今回のアンケート調査に回答した市民の職業は、「会社員」(23.9%)が最も多く、以下、「無職」(16.5%)、「自営業(農林水産業)」(13.5%)、「専業主婦・主夫」(12.0%)、「パート・アルバイト・内職」(10.4%)、「公務員・団体職員」(9.9%)、「自営業(商工業・サービス業・建設業等)」(6.9%)と続いた。



### ⑦通勤・通学先

今回のアンケート調査に回答した市民の通勤・通学先は、「山梨市内」(32.4%)が最も多く、以下「甲府市」が9.9%、「笛吹市」が6.5%、「甲州市」が6.3%と続いた。



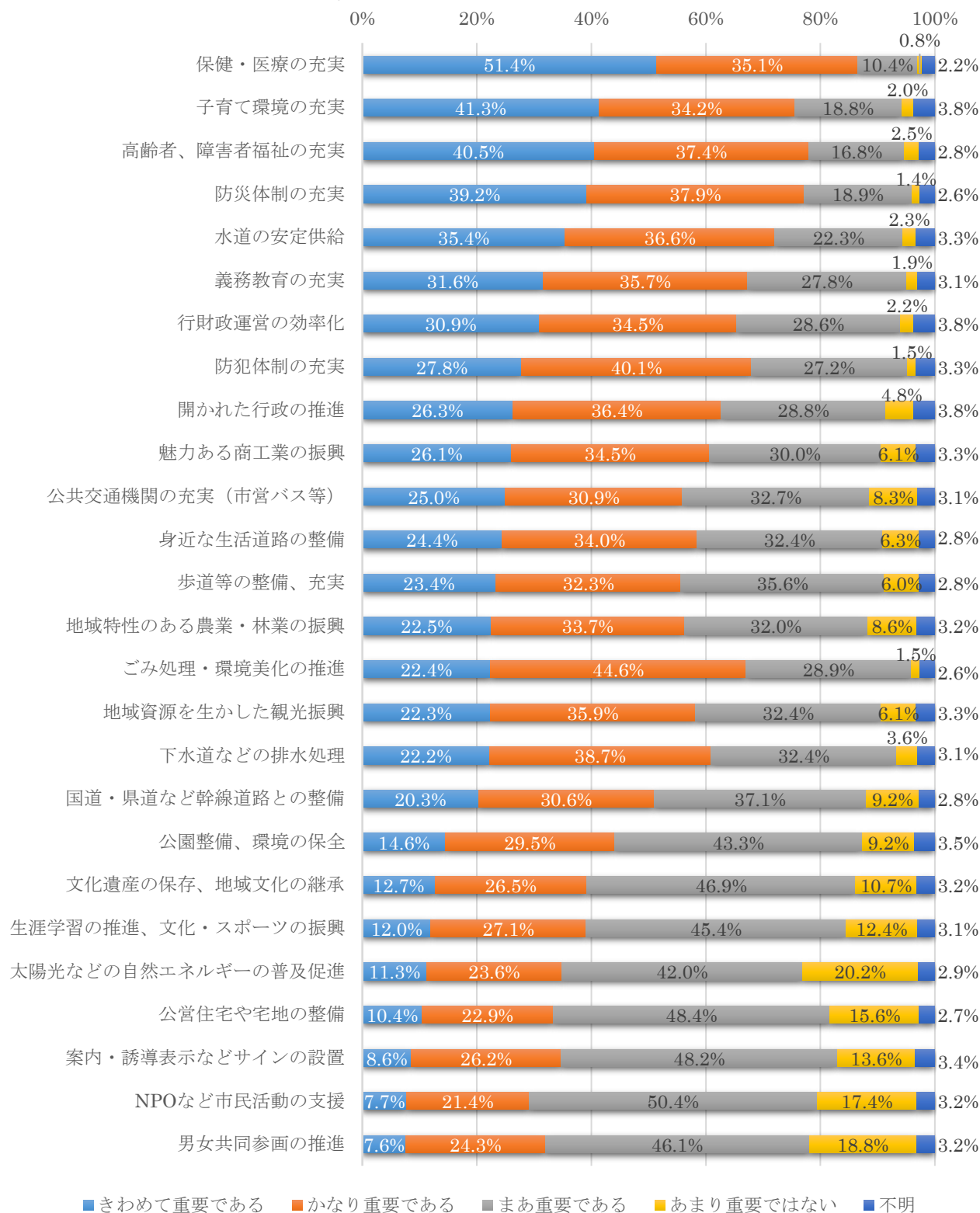
### 3. 山梨市の主な施策に対する今後の重要度

市の今後の各施策をどの程度重要であると考えているのかを、重要度としてたずねた。

「きわめて重要である」、「かなり重要である」、「まあ重要である」、「あまり重要ではない」の4段階でたずねた。

「きわめて重要である」が最も高かったのは、「保健・医療の充実」(51.4%)であり、以下「子育て支援の充実」(41.3%)、「高齢者、障害者福祉の充実」(40.5%)の順となっている。

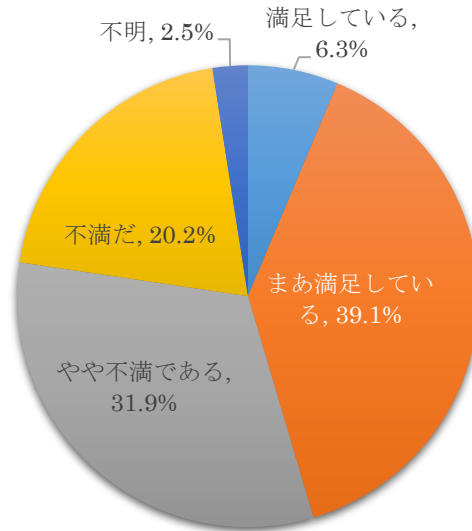
#### 問1：山梨市の主な施策に対する重要度



4. 第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」の指標等について

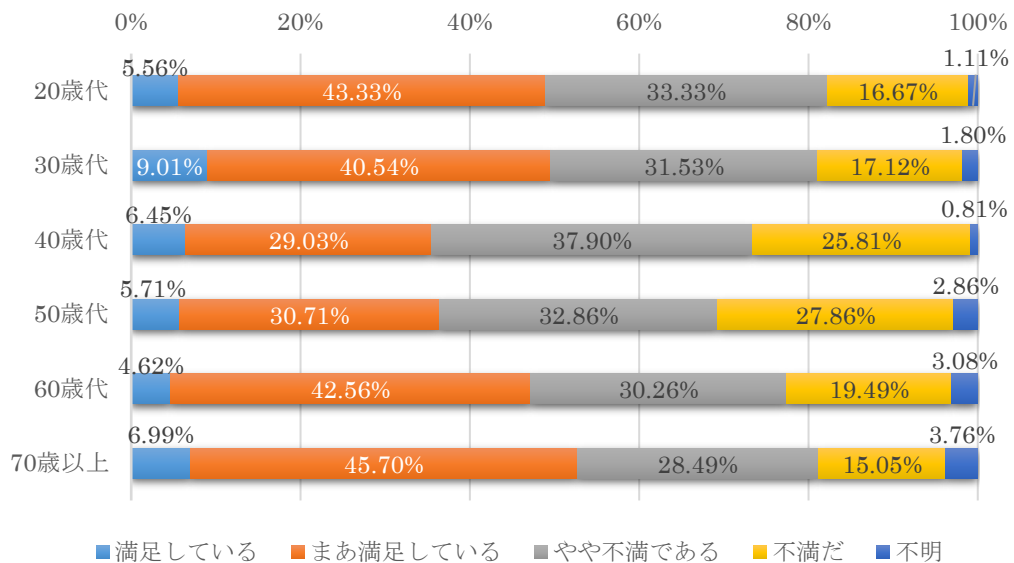
鉄道やバスなどの公共交通機関にどの程度満足しているかを、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満である」の4段階でたずねた。「満足している」が6.3%、「まあ満足している」が39.1%、「やや不満である」が31.9%、「不満だ」が20.2%という結果だった。

### 問2：公共交通機関の満足度



年齢別にみると、「満足している」、「まあ満足している」の合計の割合が一番高かったのは70歳以上の人（52.60%）であった。

### 年齢×問2：公共交通満足度

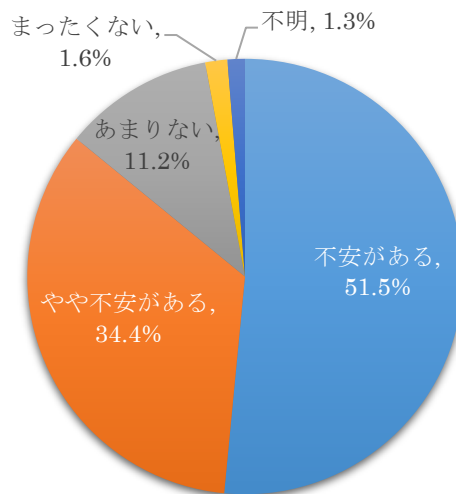


5. 第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」に示された指標等について

① 老後の備えの不安について

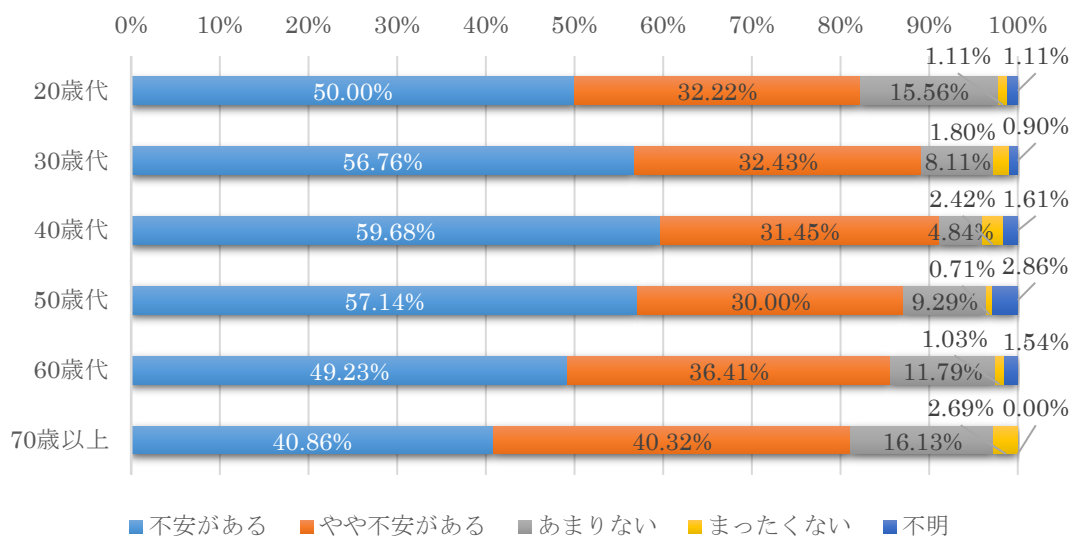
老後の備えの不安についてたずねたところ、「不安がある」が51.5%で最も多かった。以下、「やや不安がある」(34.4%)、「あまりない」(11.2%)、「まったくない」(1.6%)と続いた。

問3：老後の備えの不安



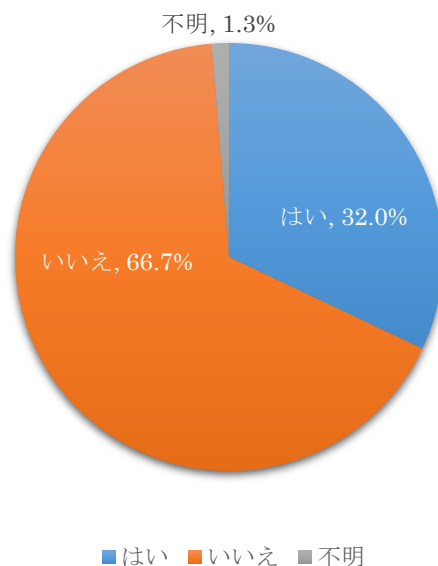
年齢別で見ると、「不安がある」と答えた人の割合が最も高かったのは40歳代(59.68%)であった。次に、30歳代も56.76%と高い割合だった。一方、最も低かったのは70歳以上(40.86%)であった。

年齢×問3：老後の備えの不安



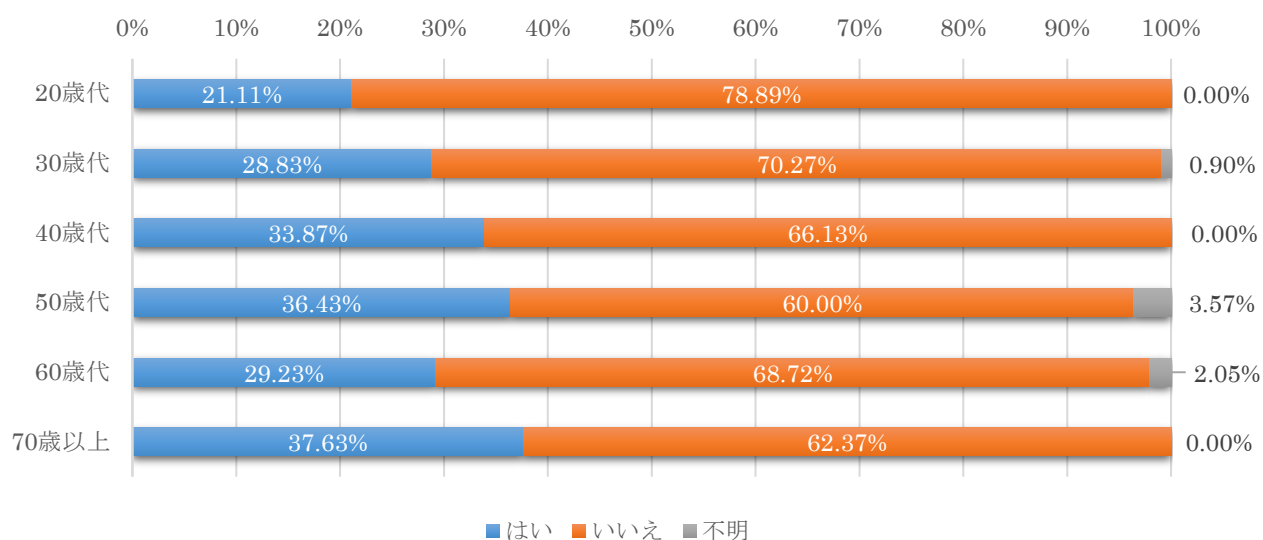
- ② スポーツイベントや体育行事への参加の有無について  
 スポーツイベントや体育行事に参加しているかたずねたところ、「いいえ」が66.7%と最も高かった。

#### 問4：スポーツイベントや体育行事に参加しているか



また、年齢別では70歳以上の参加割合が37.63%と一番多かったが、20歳代の参加割合が21.11%と少ないことが分かった。

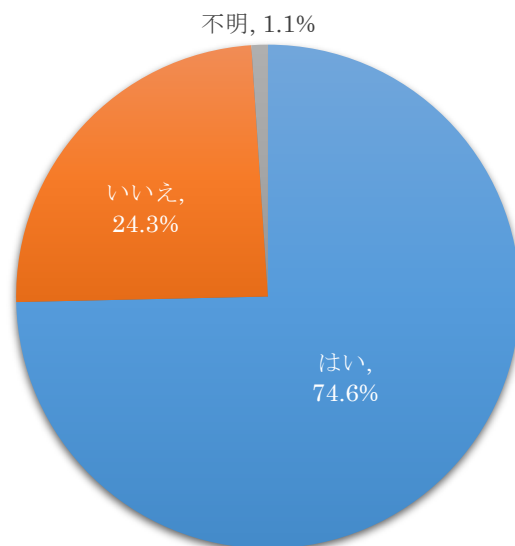
#### 年齢×問4：スポーツイベントや体育行事への参加の有無



③ かかりつけ医について

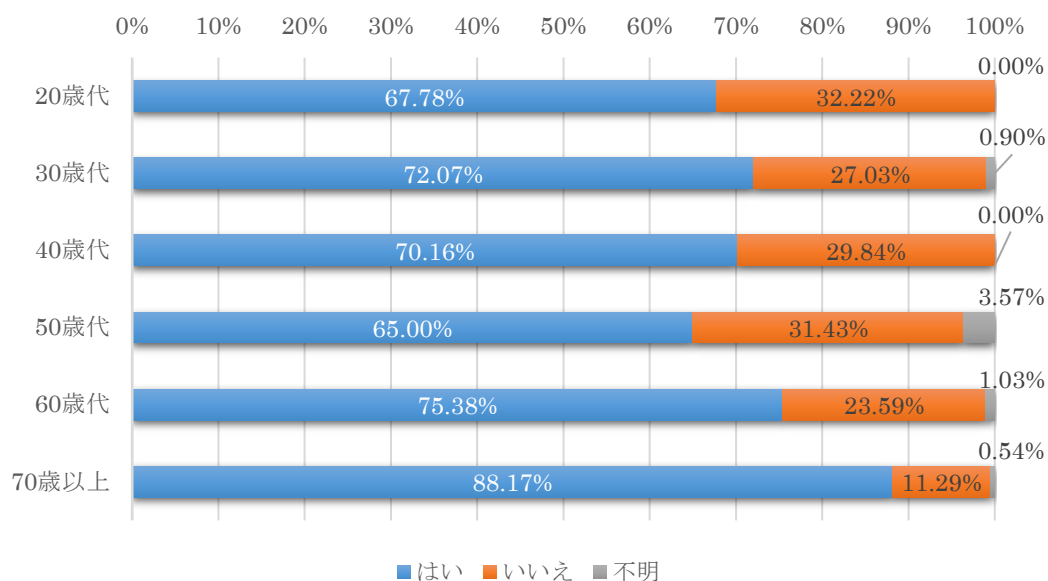
かかりつけ医を決めているかたずねたところ、「はい」が74.6%、「いいえ」が24.3%であった。

### 問5：かかりつけ医を決めているか



年齢別では、70歳以上でかかりつけ医を決めている人が88.17%と最も高い割合だった。一方、50歳代でかかりつけ医を決めている人の割合が65.00%と最も少なかった。

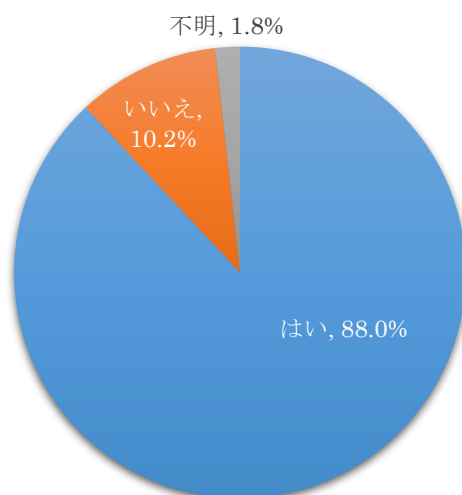
### 年齢×問5：かかりつけ医を決めているか





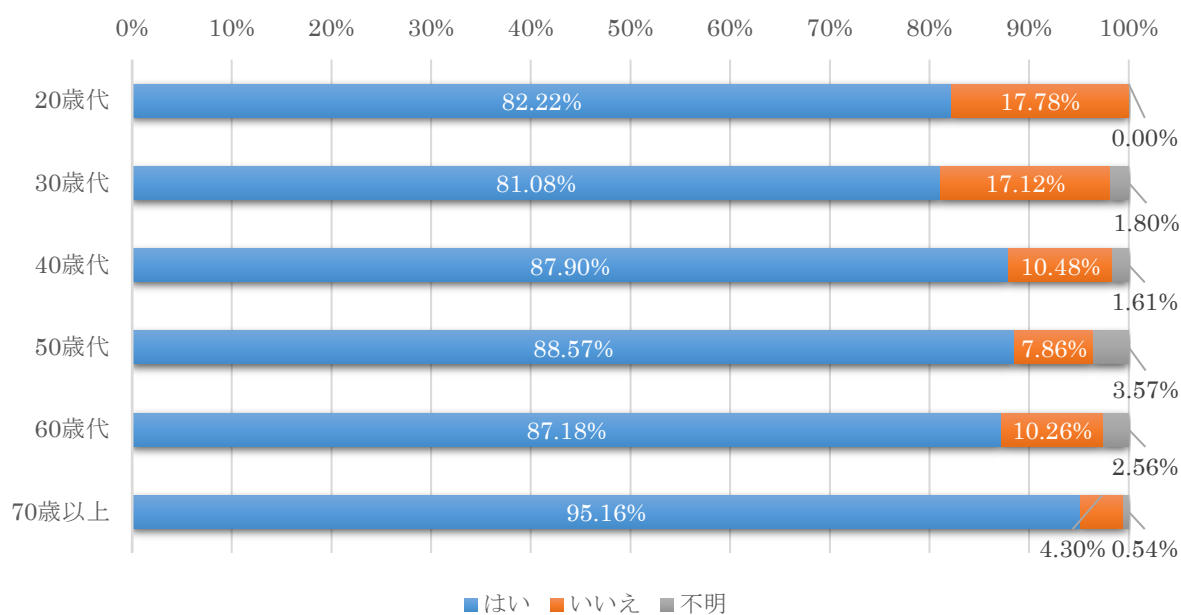
- ④ 商品やサービスの購入時の日ごろからトラブル回避を心がけている市民の割合  
 商品やサービスの購入時に日ごろからトラブルがないように心がけているかについては、「はい」が88.0%、「いいえ」が10.2%という結果であった。

### 問6：商品やサービスの購入時に日ごろからトラブルがないように心がけているか



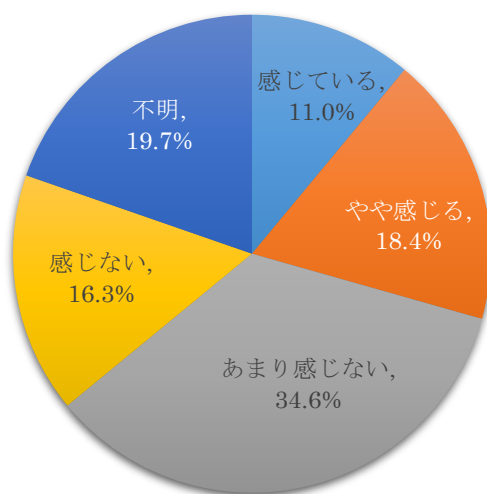
年齢別でみると、「はい」と答えた人の割合が一番高かったのは70歳以上の人（95.16%）だった。

### 年齢×問6：商品やサービスの購入時に日ごろからトラブルがないように心がけているか



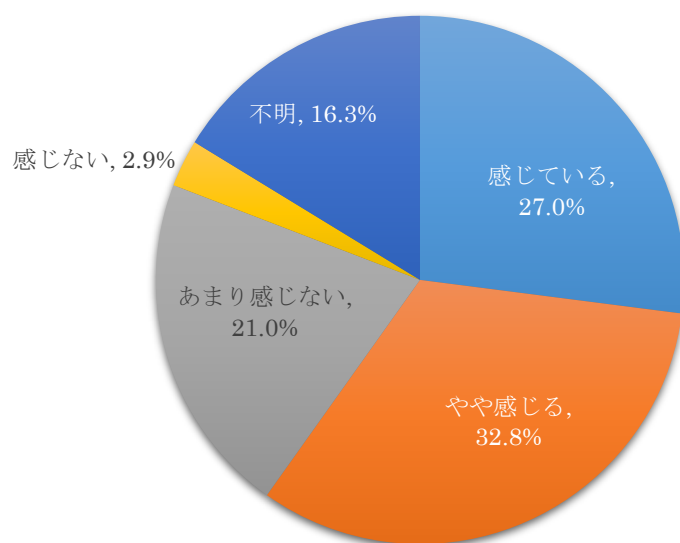
- ⑤ 65歳以上で日ごろ、食料品や日用品の買い物に不便を感じている人の割合について「あまり感じない」(34.6%)が一番多かった。以下、「やや感じる」(18.4%)、「感じない」(16.3%)、「感じている」(11.0%)と続いた。

### 問7：食料品や日用品の買い物に不便を感じているか



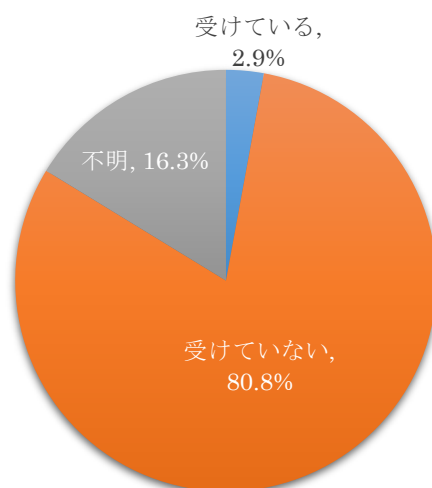
- ⑥ 65歳以上高齢者のうち、生きがい、やりがいを感じる人の割合について  
「感じている」(27.0%)、「やや感じる」(32.8%)の割合を合わせると59.8%となり、半数以上の人が生きがいを感じているという結果になった。

### 問8：生きがいを感じている人の割合



- ⑦ 65歳以上で訪問診療を受けている人の割合について  
訪問診療を受けていない人が80.8%と高い結果になった。

### 問9：訪問診療を受けている人の割合

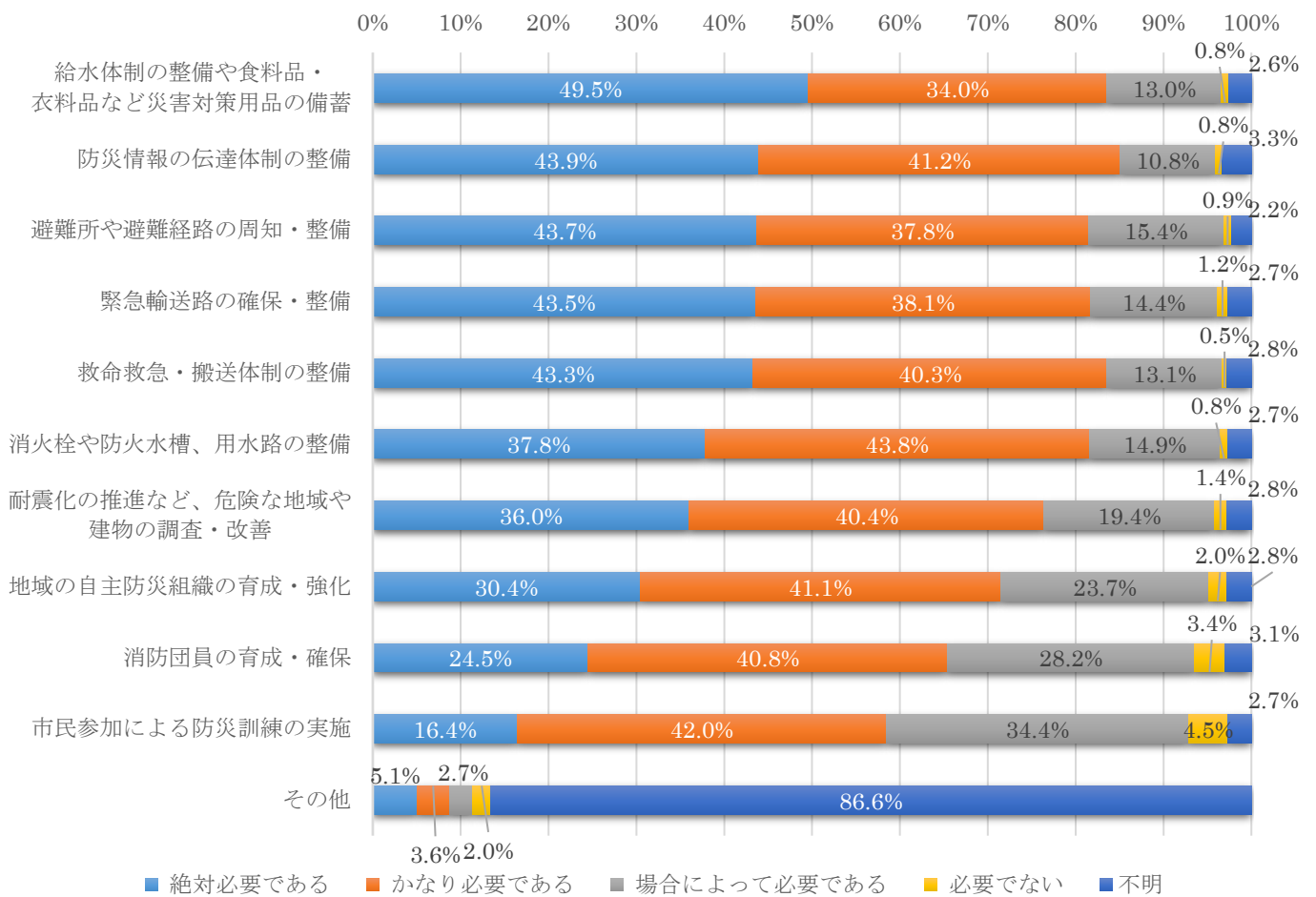


## 6. 防災について

### ① 災害に強いまちづくりを推進するための取り組みについて

「絶対必要である」、「かなり必要である」の合計の割合が最も高かったのは、「防災情報の伝達体制の整備」(85.1%)で、以下「給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄」(83.5%)、「救命救急・搬送体制の整備」(83.6%)と続いた。

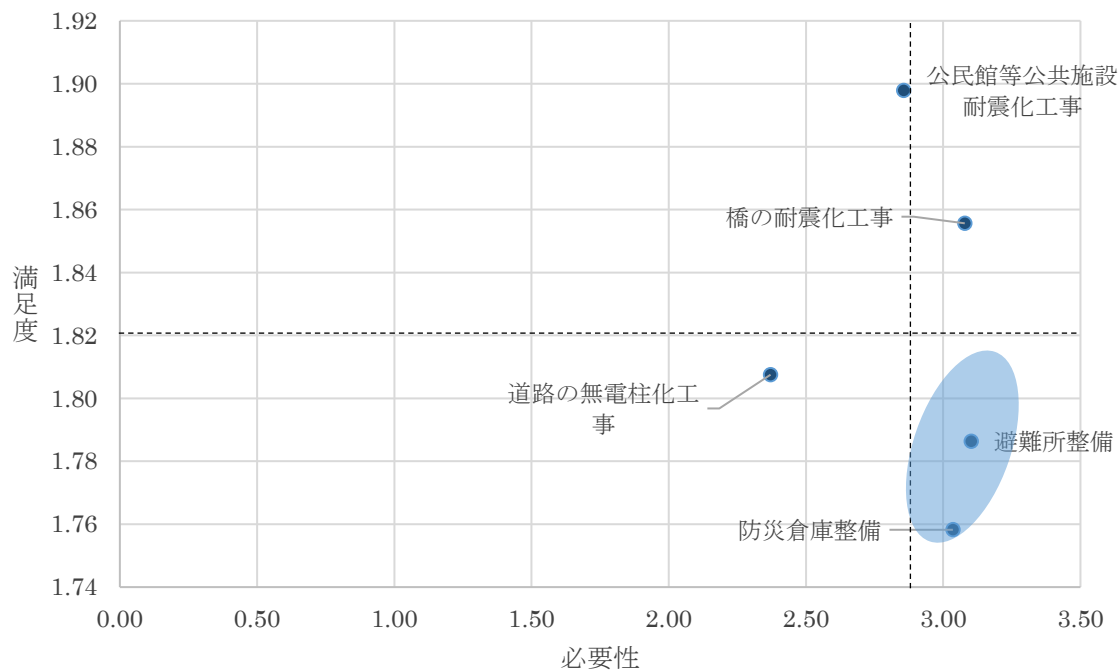
### 問10：災害に強いまちづくりを推進するための取り組みについて



② 災害に備えた公共施設等工事や整備の必要性・満足度について

災害に備えた公共施設等工事や整備をどの程度必要としているのかと、各工事や整備にその程度満足しているのかを、必要性と満足度としてたずねた。必要性については「絶対必要である」、「かなり必要である」、「場合によって必要である」、「必要でない」の4段階でたずねた。また、満足度については、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満だ」の4段階でたずねた。

集計に当たっては、必要性、満足度が高い選択肢から各々4点、3点、2点、1点を割り振り、各施策について回答者の平均点を算出した。この結果について、必要性を横軸に、満足度を縦軸にとり、散布図形式で示した。なお、図中に示した点線は、必要性、満足度の全体の平均値を表している。



「避難所整備」、「防災倉庫整備」については、必要性は高いが、満足度が低くなっている。

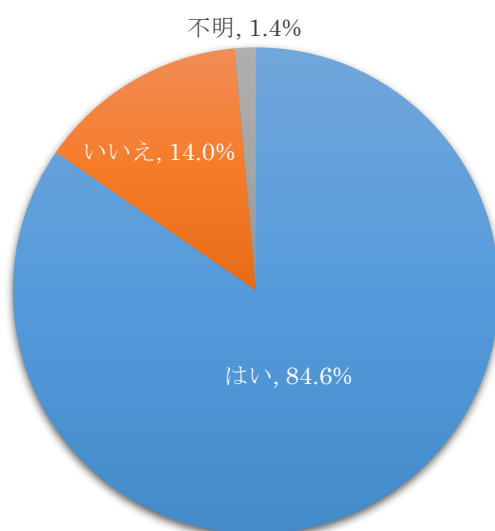
	カテゴリ	必要性
1	避難所整備	3.10
2	橋の耐震化工事	3.08
3	防災倉庫整備	3.04
4	公民館等公共施設耐震化工事	2.86
5	道路の無電柱化工事	2.37

	カテゴリ	満足度
1	公民館等公共施設耐震化工事	1.90
2	橋の耐震化工事	1.86
3	道路の無電柱化工事	1.81
4	避難所整備	1.79
5	防災倉庫整備	1.76

③ 災害発生時の避難場所の認識について

「災害発生時の避難場所を知っているか」についてたずねたところ、「はい」(84.6%)、「いいえ」(14.0%)であった。

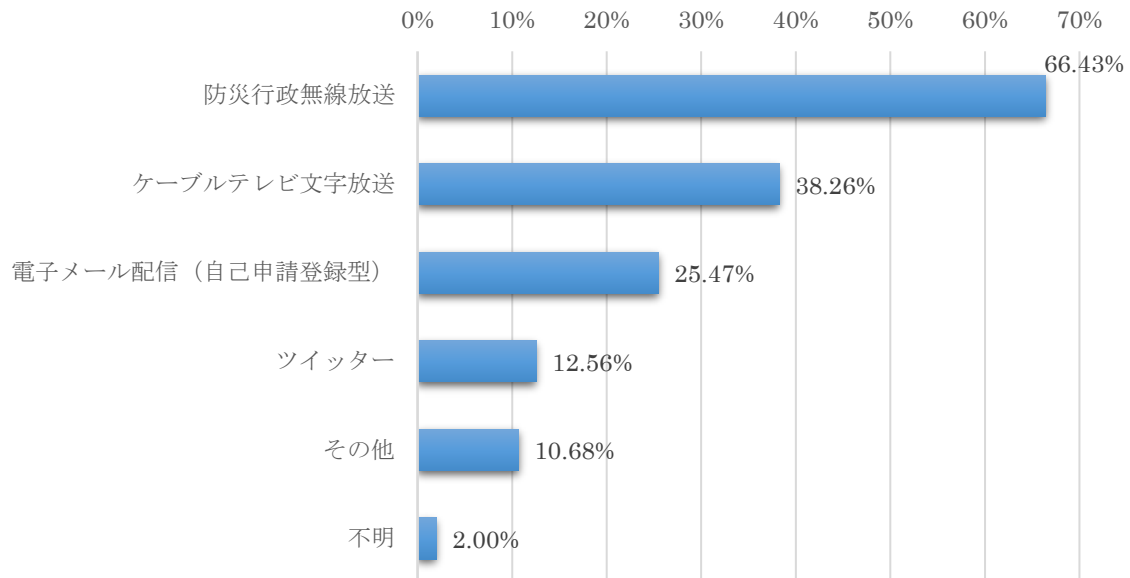
### 問12：災害発生時の避難場所を知っているか



④ 気象情報・防災情報を得る手段について

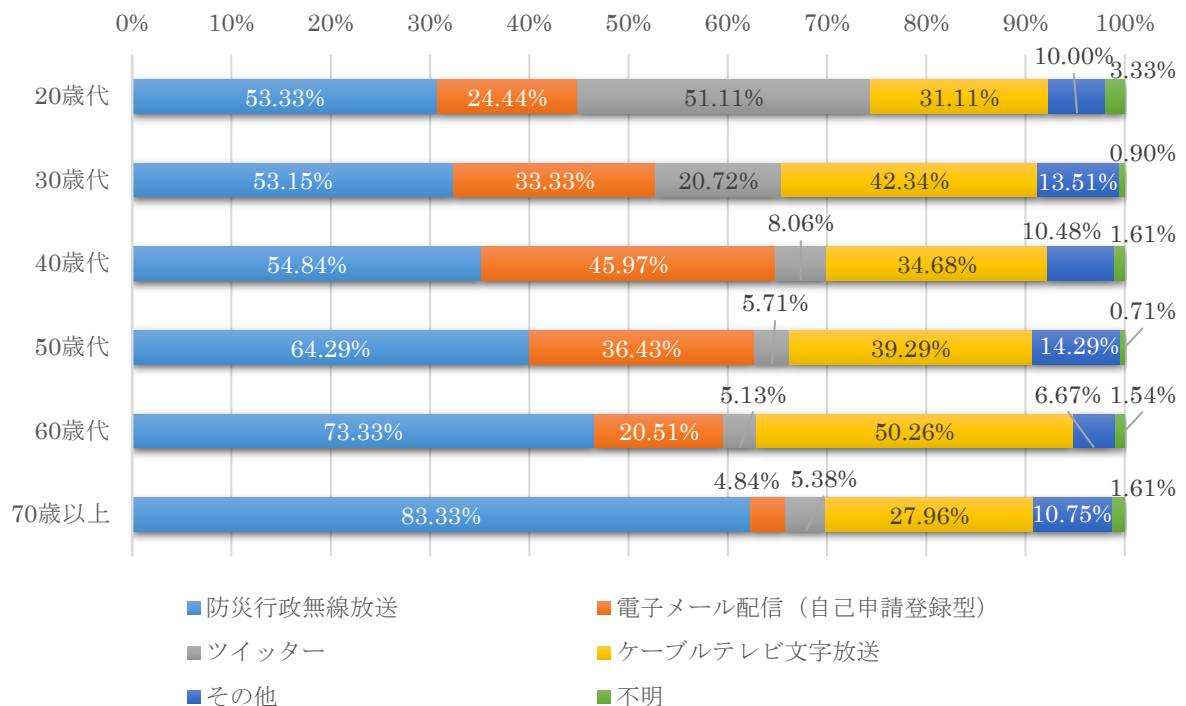
「防災行政無線放送」(66.43%)が最も高く、以下「ケーブルテレビ文字放送」(38.26%)、「電子メール配信(自己申請登録型)」(25.47%)の順に回答が多い結果となっている。

### 問13：気象情報・防災情報を得る手段



また、年齢別にみると「防災行政無線放送」を手段にしている人の割合は、年齢が高くなるにつれ上がっている。一方、「ツイッター」は20歳代での割合が51.11%と高かった。

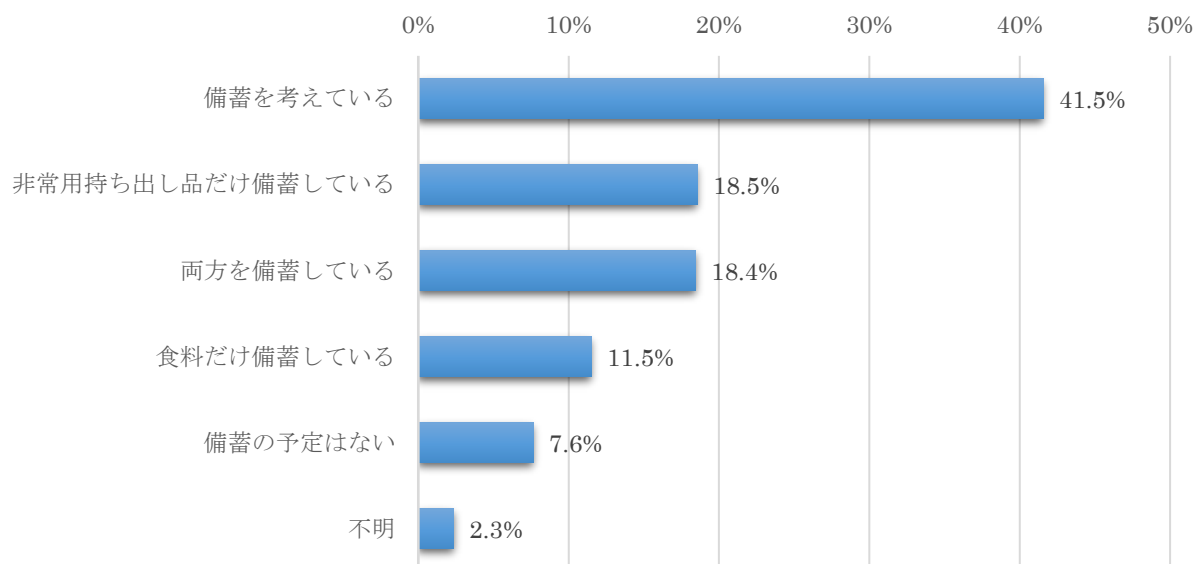
### 年齢×問13：気象情報・防災情報を得る手段





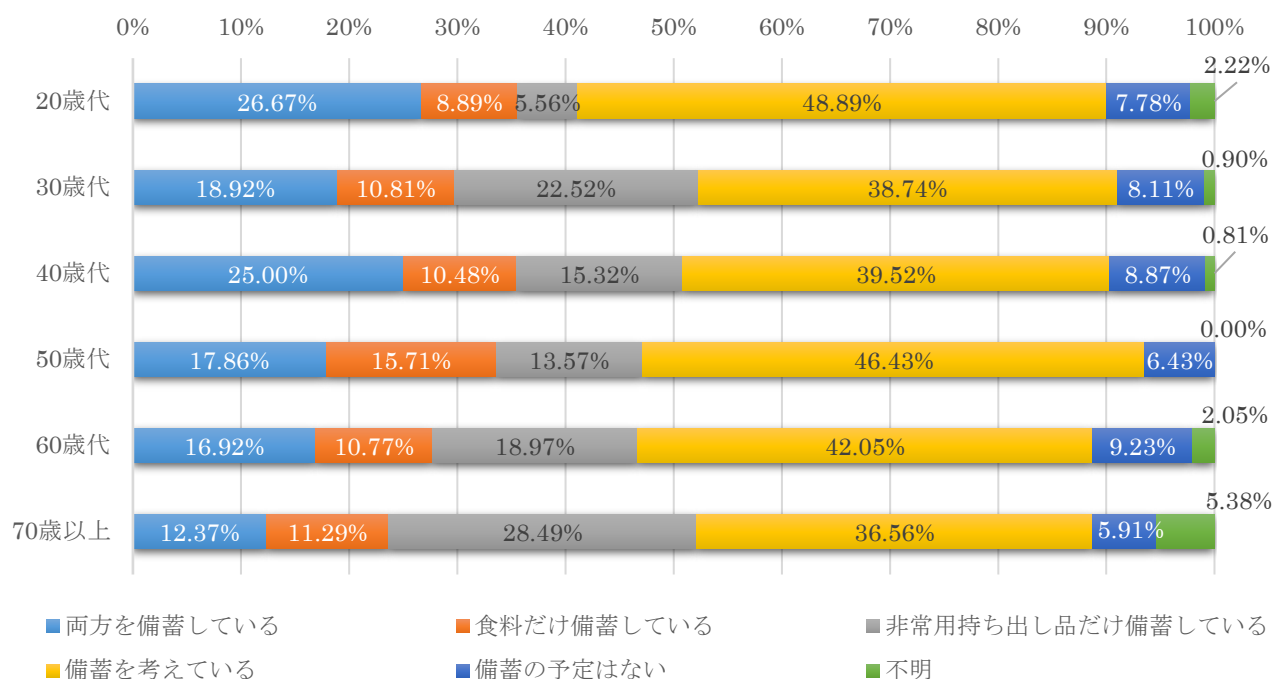
- ⑤ 災害に備えた食料・非常用持ち出し品の備蓄について  
「備蓄を考えている」(41.5%)が最も高く、以下「非常用持ち出し品だけ備蓄している」(18.5%)、  
「両方を備蓄している」(18.4%)と続いた。

### 問14：災害に備えた食料品や非常用持ち出し品の備蓄



年齢別にみると、「両方を備蓄している」と答えた人の割合は20歳代が26.67%と一番多かった。「非常用持ち出し品だけ備蓄している」人の割合は70歳以上が28.49%と一番高かった。

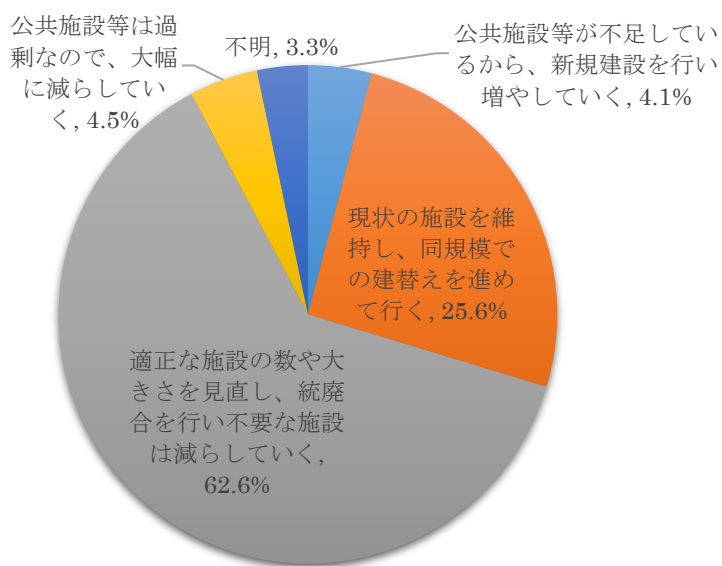
### 年齢×問14：災害に備えた食料・非常用持ち出し品の備蓄



## 7. 今後の公共施設のあり方について

今後の公共施設の整備のあり方への問いに対しては「適正な施設の数や大きさを見直し、統廃合を行い不要な施設は減らしていく」が62.6%、「現状の施設を維持し、同規模での建替えを進めて行く」が25.6%、「公共施設は充実しているから、大幅に減らしていく」が4.5%、「公共施設等が不足しているから、新規建設を行い増やしていく」が4.1%であった。

### 問15：今後の公共施設の整備の進め方

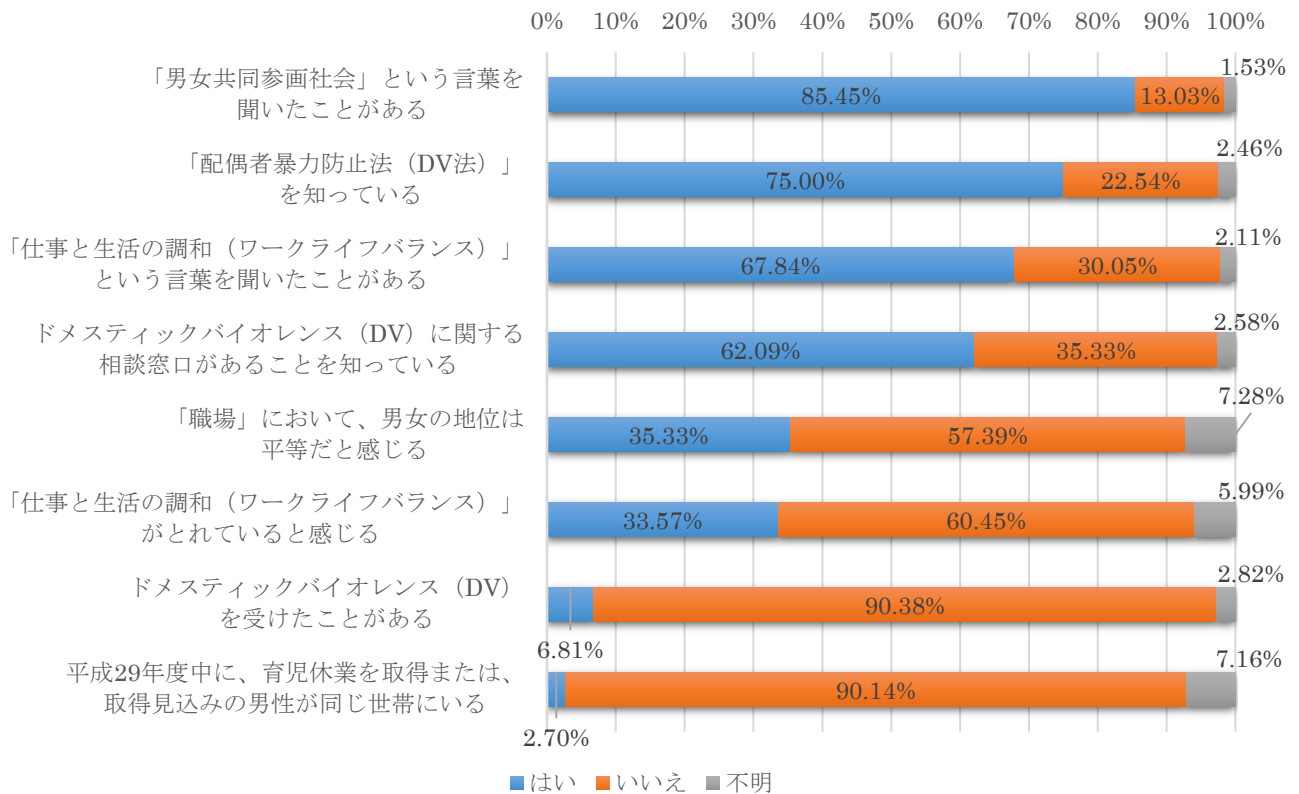


## 8. 男女共同参画について

「男女共同参画」という言葉の認識度は85.45%と高くなっている。

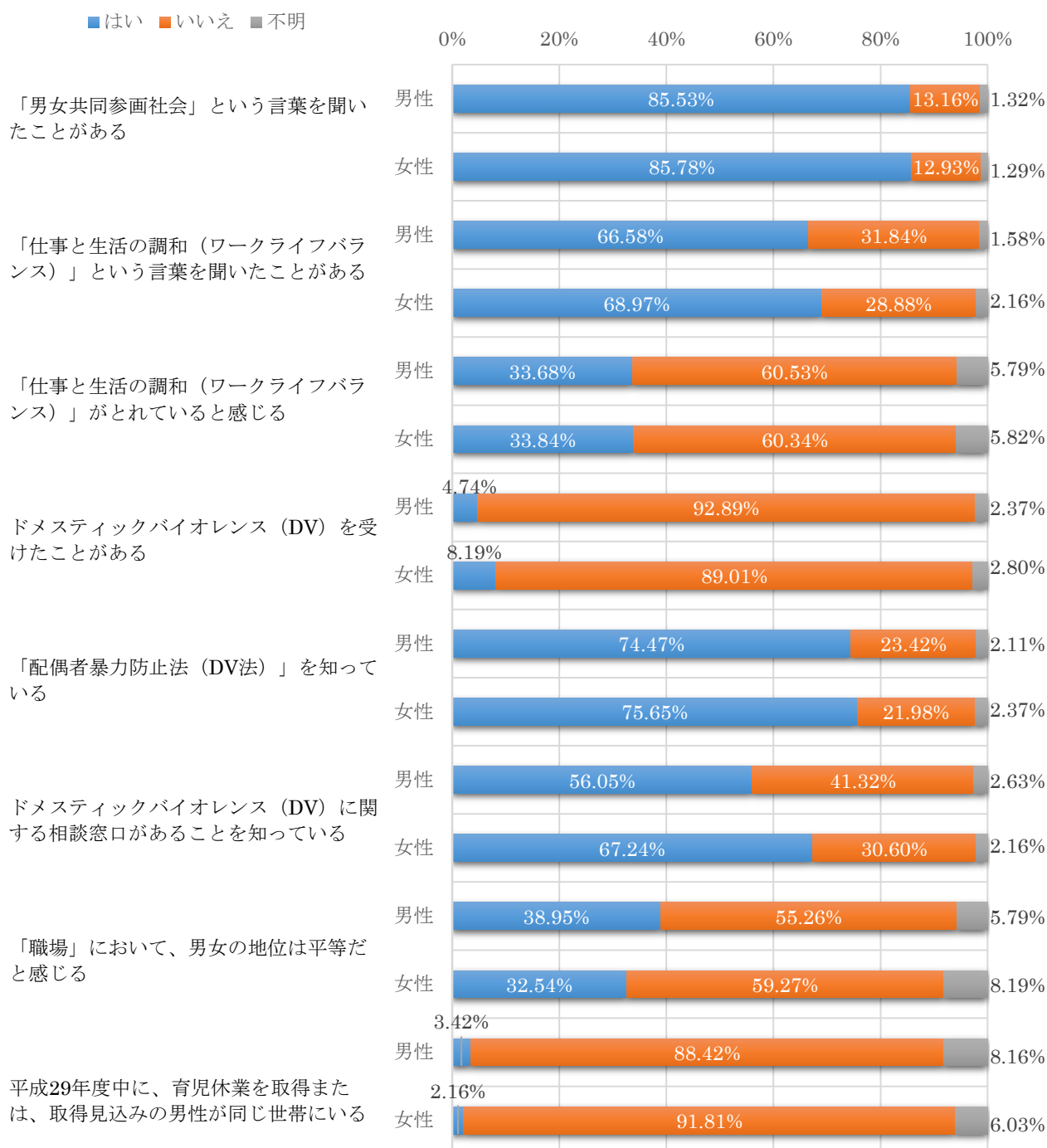
しかし、「職場」において男女の地位が平等だと感じるとの回答は35.33%となり、低い数値にとどまっている。

### 問16：男女共同参画について



男女別に見ると、「職場」において、男女の地位が平等と感じている女性の割合は男性より低くなっている。

## 性別×問16：男女共同参画について

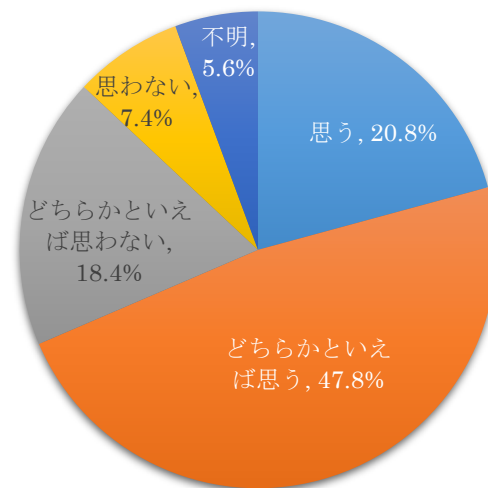


9. 子育て環境について

① 住んでいる地域の子育てのしやすさについて

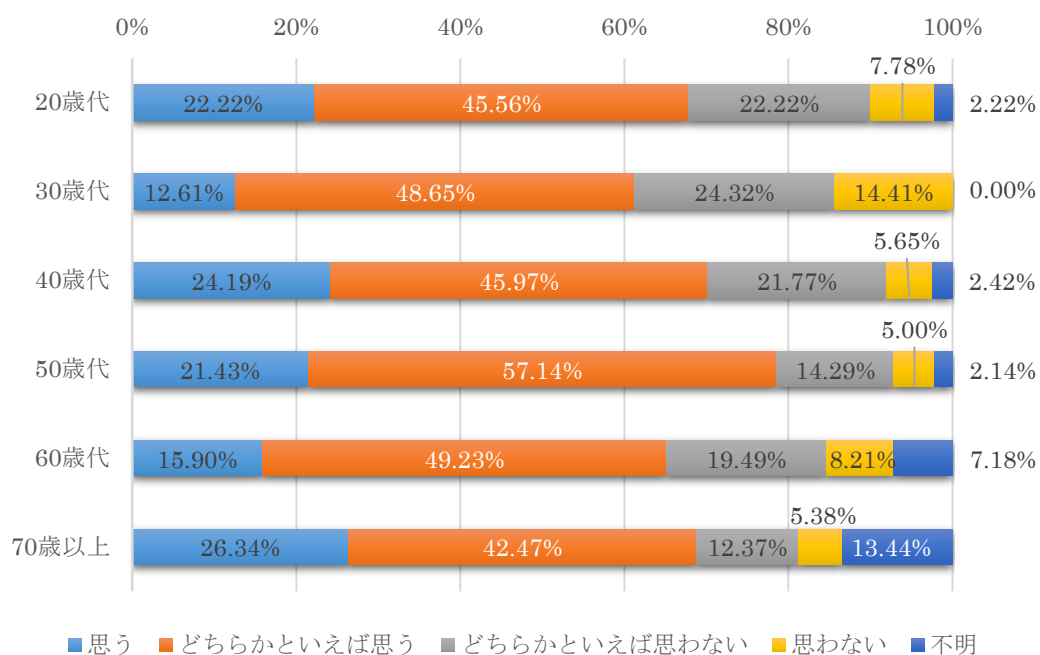
「どちらかといえば思う」(47.8%)が一番多く、以下、「思う」(20.8%)、「どちらかといえば思わない」(18.9%)、「思わない」(7.4%)と続いた。

問17：子育てしやすいと思うか



年齢別に、「思う」と「どちらかといえば思う」を足した割合をみると、50歳代が78.57%と最も多かった。30歳代は61.26%と最も少ない割合だった。

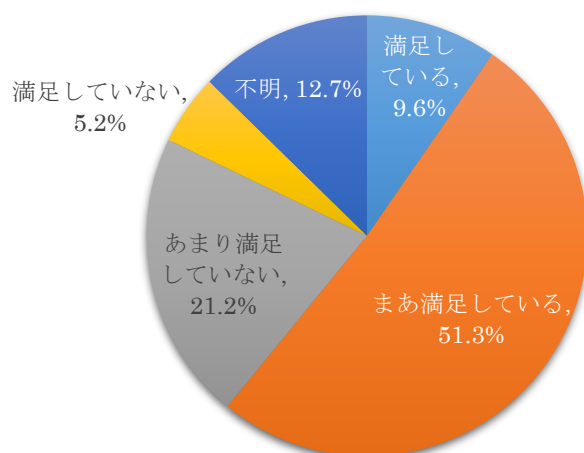
年齢×問17：子育てしやすいと思うか



② 子育て支援環境に対する満足度について

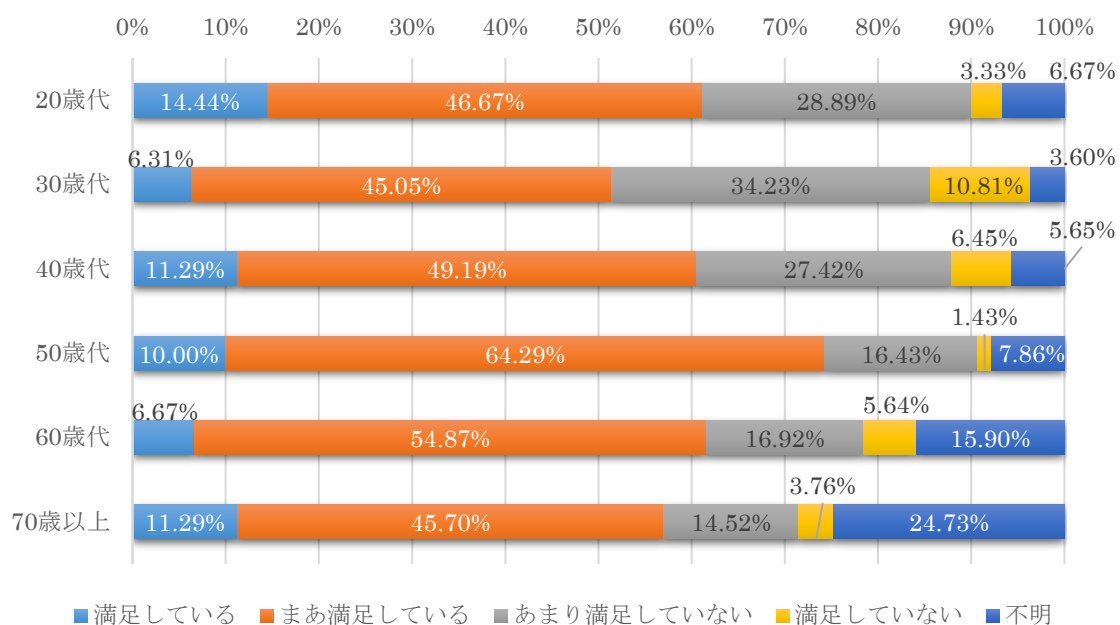
「まあ満足している」(51.3%)が一番多く、以下、「あまり満足していない」(21.2%)、「満足している」(9.6%)、「満足していない」(5.2%)と続いた。

### 問18：子育て支援体制に満足しているか



年齢別に、「思う」と「どちらかといえば思う」を足した割合をみると、50歳代が74.29%と最も多かった。30歳代は51.36%と最も少ない割合だった。

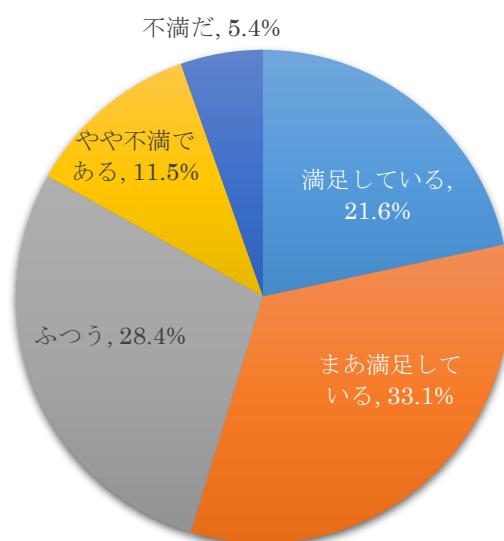
### 年齢×問18：子育て支援体制に満足しているか



③ 学校環境に対する親の満足度

小学生・中学生の子どもがいる人に学校環境に対する満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(33.1%)が一番多かった。以下、「ふつう」(28.4%)、「満足している」(21.6%)「やや不満である」(11.5%)、「不満だ」(5.4%)と続いた。

問19：学校環境に満足しているか

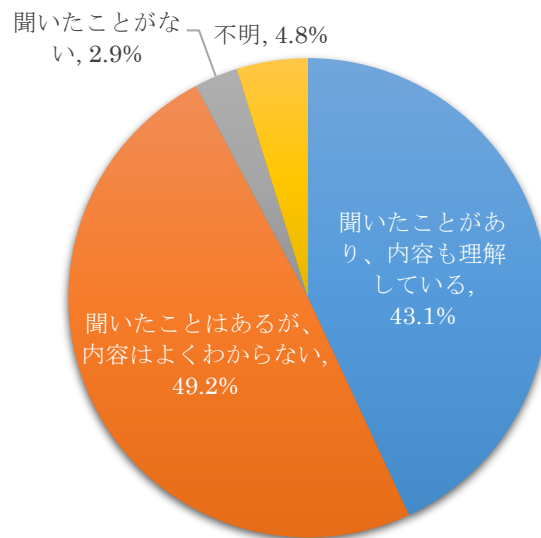


## 10. 生涯学習について

### ① 「生涯学習」という言葉の周知度について

「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」(49.2%)が最も多かった。以下、「聞いたこともあり、内容も理解している」(43.1%)、「聞いたことがない」(2.9%)と続いた。

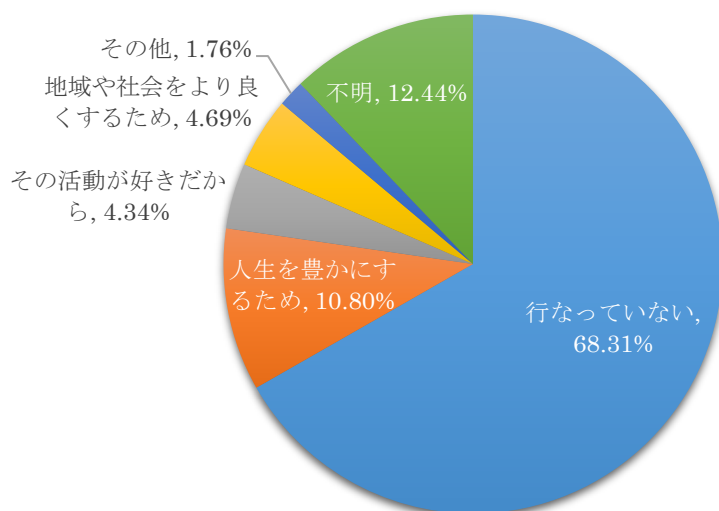
## 問20：「生涯学習」という言葉を聞いたことがあるか





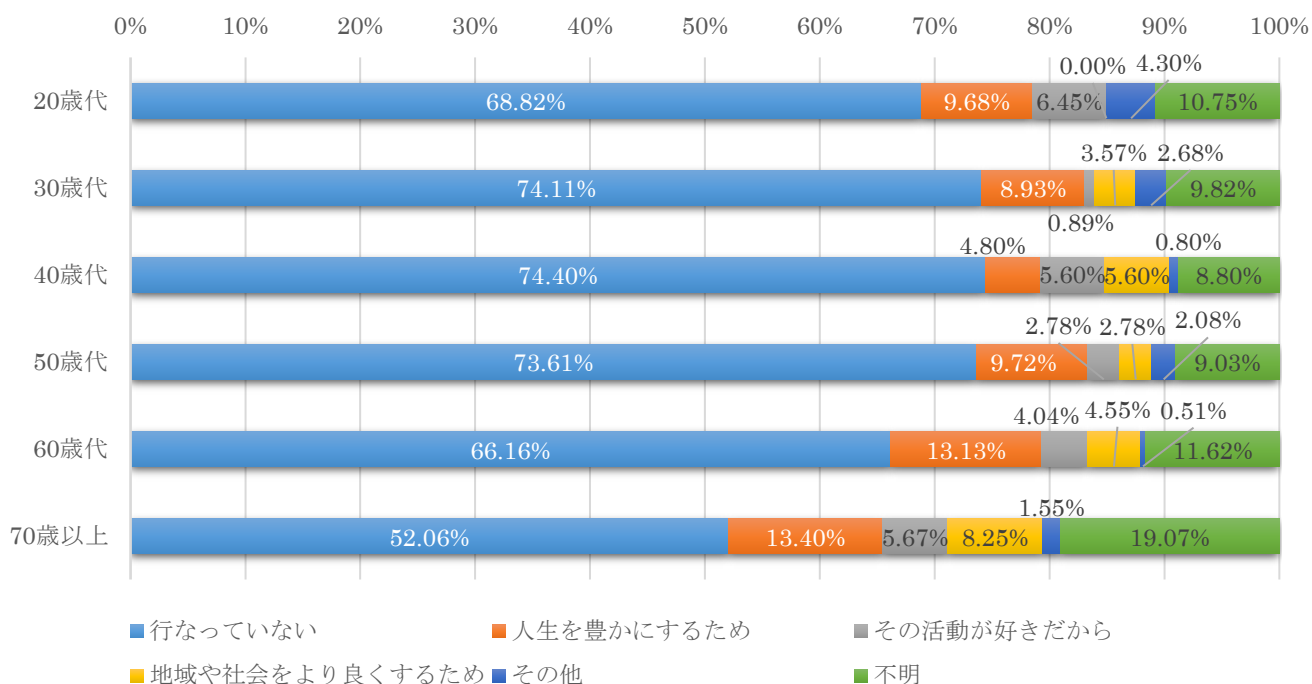
- ② この1年に「生涯学習活動」を行った人の割合と目的  
 「行っていない」(68.31%)と答えた人の割合が最も多かった。目的別では「人生を豊かにするため」(10.80%)が一番多い結果となった。

### 問21：この1年に「生涯学習活動」を行った人の割合と目的



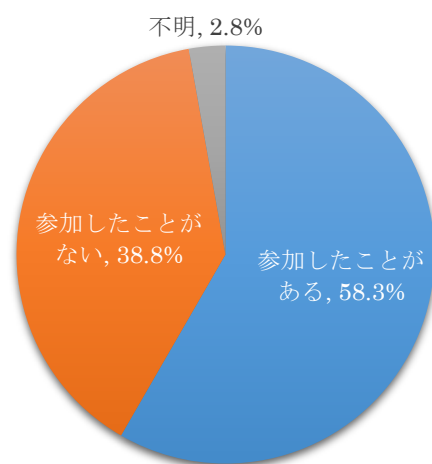
年齢別にみると、30歳代、40歳代の「行っていない」の割合が高かった。目的別で見ると、「人生を豊かにするため」と答えた人は70代の割合が13.40%と最も高くなった。「その活動が好きだから」と答えた人は20歳代の割合が6.45%と最も高くなった。「地域や社会をより良くするため」と答えた人は70歳代の割合が8.25%と最も高くなった。

### 年齢×問21：この1年に「生涯学習活動」を行った人の割合と目的



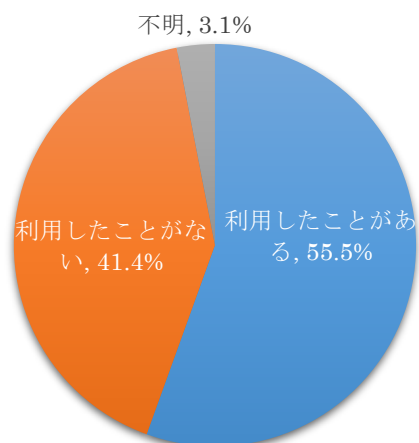
- ③ 地区公民館事業への参加状況について  
半数以上が「参加したことがある」(58.3%)と答えた。

## 問22：地区公民館事業への参加状況



- ④ 地区公民館利用状況  
半数以上が「利用したことがある」(55.5%)であった。

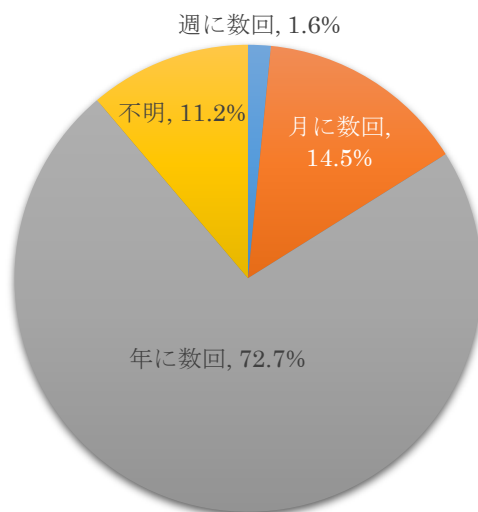
### 問23：地区公民館施設（部屋）の利用状況



⑤ 地区公民館利用頻度

「年に数回」(72.7%)が最も多く、以下、「月に数回」(14.5%)、「週に数回」(1.6%)と続いた。

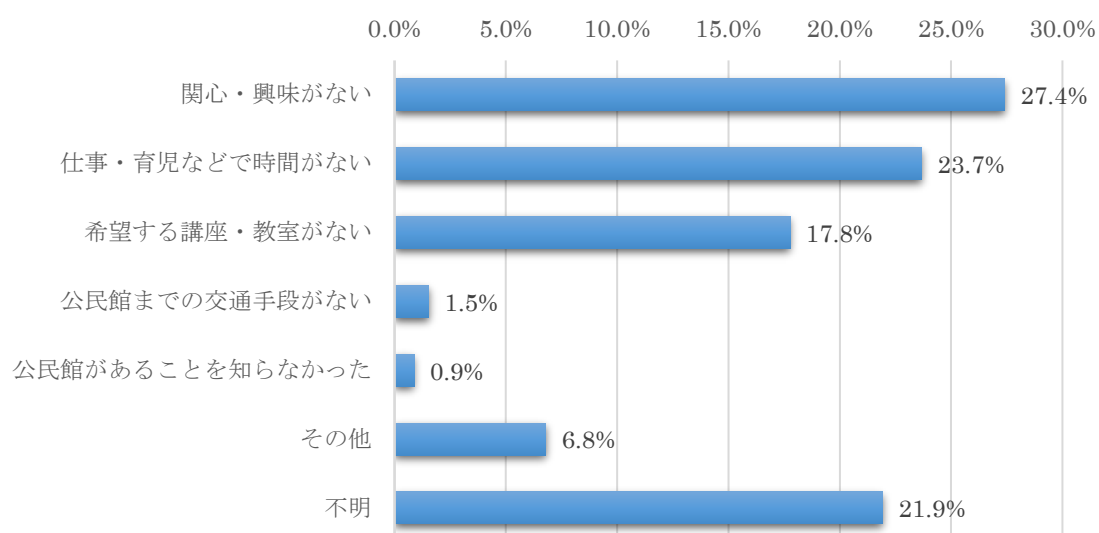
問24：地区公民館施設（部屋）の利用頻度



⑥ 地区公民館事業に参加しない・地区公民館を利用しない理由

問 22、23 で参加したことがない、利用したことがないと答えた方のみに理由をたずねたところ「関心・興味がない」が 27.4%、「仕事・育児などで時間がない」が 23.7%、「希望する講座・教室がない」が 17.8%、「公民館までの交通手段がない」が 1.5%、「公民館があることを知らなかった」が 0.9%であった。

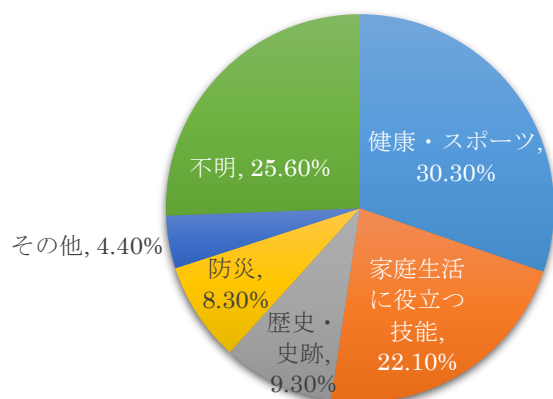
問25：地区公民館事業に参加しない・  
地区公民館施設（部屋）を利用しない理由



⑦ 教室・講座の希望

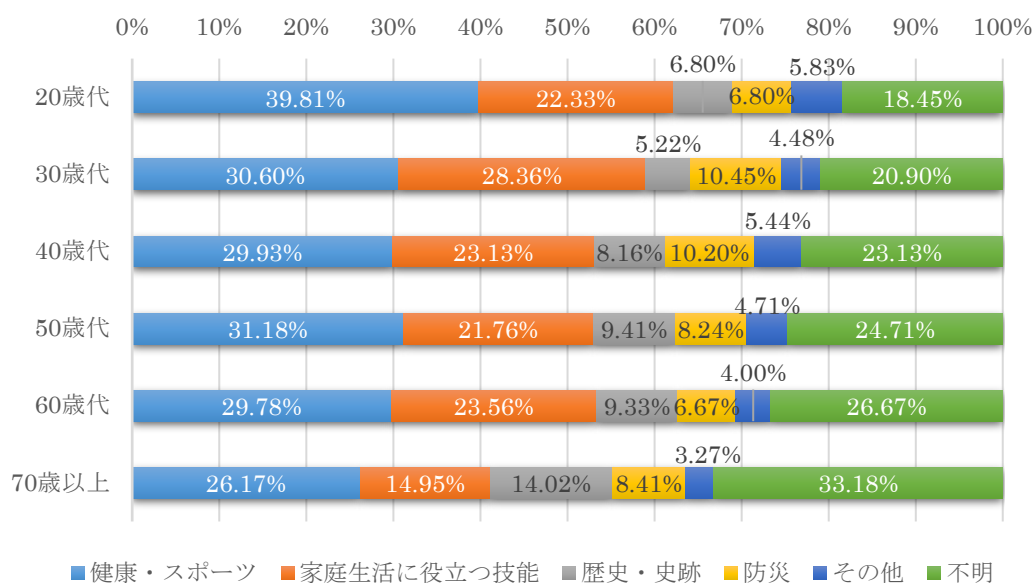
「健康・スポーツ」(30.30%)の割合が最も多かった。以下、「家庭生活に役立つ技能」(22.10%)、「歴史・史跡」(9.30%)、「防災」(8.30%)と続いた。

問26：どのような教室、講座を希望するか



また、年齢別にみると、「健康・スポーツ」では20歳代の希望割合が一番多くなった。「家庭生活に役立つ技能」、「防災」では30歳代の希望割合が一番多くなった。「歴史・史跡」では70歳以上の希望割合が一番多くなった。

年齢×問26：教室・講座の希望



## 山梨市住民意向調査

平成30年2月23日

実施機関：山梨市役所(まちづくり政策課)

◎ご多忙のところ、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎今回、調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの20歳以上の方から2,000人を無作為に選ばせていただきました。

◎ご回答の内容は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が明らかになることはありません。また、他の目的に使用することは一切ございません。

### 《ご記入にあたってのお願い》

- 1 ご回答は、封筒の**あて名の方**ご本人が記入してください。ただし、本人が何らかの理由で記入できない場合は、代わってご家族の方が記入してください。
- 2 本調査票には、あてはまる番号や回答欄に○印をつけるものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。  
設問にしたがって、鉛筆か黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
- 3 ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、**平成30年3月16日(金)まで**に投函してください。  
※市役所まちづくり政策課または牧丘・三富支所の総務課担当窓口にて、直接提出いただくこともできます。
- 4 本調査の趣旨や記入方法などについてご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

#### 【調査に関する問い合わせ先】

山梨市役所 まちづくり政策課 政策調整担当(担当: 芦沢)

〒405-8501 山梨市小原西843

電話0553-22-1111(内線2453)

- ◆ はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。  
 すべての項目について、いずれか1つを選び、○印で囲んでください。

① あなたの性別は

1. 男	2. 女
------	------

② あなたの年齢は(平成30年3月1日現在)

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上

③ あなたのお住まいは

1. 加納岩地区	2. 日下部地区	3. 八幡地区	4. 山梨地区
5. 日川地区	6. 後屋敷地区	7. 岩手地区	8. 諏訪地区
9. 中牧地区	10. 西保地区	11. 三富地区	

④ あなたは、山梨市内(旧3市町村)に住んで通算何年になりますか。

1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上

⑤ あなたの家族構成は

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯(親・子)	4. 三世帯(親・子・孫)
5. その他( )			

⑥ あなたの職業は(兼業の方は主な職業についてお答えください)

1. 自営業(農林水産業)	2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)		
3. 自由業(医師・弁護士・税理士・僧侶等)	4. 会社員	5. 公務員・団体職員	
6. パート・アルバイト・内職	7. 学生	8. 専業主婦・主夫	9. 無職
10. その他(具体的に: )			

○ ⑥の「あなたの職業」が、「8. 専業主婦・主夫」「9. 無職」以外の方におたずねします。

⑦ あなたの職場や通学先を次の中から選び、○印で囲んでください。

※⑥の「あなたの職業」が「農業」の方は主な農地の所在地をお答えください。

1. 山梨市内	2. 甲府市	3. 笛吹市	4. 甲州市
5. その他の山梨県内(国中地域)	6. その他の山梨県内(郡内地域)		
7. その他(具体的に: )			



◆ 山梨市の主な施策に対する今後の重要度についてあなたのお考えをおたずねします。

問1 市の施策のうち次の26項目について、あなたが感じている今後の重要度についておたずねします。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

項目	重要度2			
	きわめて重要である	かなり重要である	まあ重要である	あまり重要でない
① 保健・医療の充実	イ	ロ	ハ	ニ
② 防災体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
③ 子育て環境の充実	イ	ロ	ハ	ニ
④ 水道の安定供給	イ	ロ	ハ	ニ
⑤ 高齢者、障害者福祉の充実	イ	ロ	ハ	ニ
⑥ 防犯体制の充実	イ	ロ	ハ	ニ
⑦ 義務教育の充実	イ	ロ	ハ	ニ
⑧ ごみ処理・環境美化の推進	イ	ロ	ハ	ニ
⑨ 下水道などの排水処理	イ	ロ	ハ	ニ
⑩ 歩道等の整備、充実	イ	ロ	ハ	ニ
⑪ 身近な生活道路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑫ 行財政運営の効率化	イ	ロ	ハ	ニ
⑬ 国道・県道など幹線道路との整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑭ 開かれた行政の推進	イ	ロ	ハ	ニ
⑮ 魅力ある商工業の振興	イ	ロ	ハ	ニ
⑯ 公共交通機関の充実(市営バス等)	イ	ロ	ハ	ニ
⑰ 地域資源を生かした観光振興	イ	ロ	ハ	ニ
⑱ 地域特性のある農業・林業の振興	イ	ロ	ハ	ニ
⑲ 案内・誘導表示などサインの設置	イ	ロ	ハ	ニ
⑳ 公園整備、環境の保全	イ	ロ	ハ	ニ
㉑ 文化遺産の保存、地域文化の継承	イ	ロ	ハ	ニ
㉒ 公営住宅や宅地の整備	イ	ロ	ハ	ニ
㉓ 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興	イ	ロ	ハ	ニ
㉔ NPOなど市民活動の支援	イ	ロ	ハ	ニ
㉕ 男女共同参画の推進	イ	ロ	ハ	ニ
㉖ 太陽光などの自然エネルギーの普及促進	イ	ロ	ハ	ニ

◆ 第2次山梨市まちづくり総合計画「中期計画」に示された指標等についておたずねします。

問 2 鉄道やバスなどの公共交通機関に満足していますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 満足している 2. まあ満足している 3. やや不満である 4. 不満だ

問 3 老後の備えに不安はありますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 不安がある 2. やや不安である 3. あまりない 4. まったくない

問 4 地域で開催しているスポーツイベントや体育行事に参加していますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. はい 2. いいえ

問 5 かかりつけ医を決めていますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. はい 2. いいえ

問 6 商品やサービスの購入時に日ごろからトラブルがないように心がけていますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. はい 2. いいえ

○ 65歳以上の方におたずねします。

問 7 日ごろ、食料品や日用品の買い物に不便を感じていますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 感じている 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 感じない

問 8 今、何かに生きがい、やりがいを感じていますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 感じている 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. 感じない

問 9 訪問診療を受けていますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 受けている 2. 受けていない

◆ 防災についてあなたのお考えをおたずねします。

問 10 災害に強いまちづくりを推進するため、具体的にどのような取り組みが必要とお考えですか。すべての項目について、あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

項目	必要度			
	絶対必要である	かなり必要である	場合によって必要である	必要でない
① 地域の自主防災組織の育成・強化	イ	ロ	ハ	ニ
② 避難所や避難経路の周知・整備	イ	ロ	ハ	ニ
③ 耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善	イ	ロ	ハ	ニ
④ 防災情報の伝達体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑤ 給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄	イ	ロ	ハ	ニ
⑥ 消火栓や防火水槽、用水路の整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑦ 市民参加による防災訓練の実施	イ	ロ	ハ	ニ
⑧ 消防団員の育成・確保	イ	ロ	ハ	ニ
⑨ 救命救急・搬送体制の整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑩ 緊急輸送路の確保・整備	イ	ロ	ハ	ニ
⑪ その他(具体的に: )	イ	ロ	ハ	ニ

問 11 災害に備えた公共施設等工事や整備の必要性・満足度をおたずねします。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

必要・満足度 項目	絶対必要である	かなり必要である	場合によっては必要である	必要でない	満足している	まあ満足している	やや不満である	不満だ
① 道路の無電柱化工事	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ
② 橋の耐震化工事	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ
③ 公民館等公共施設耐震化工事	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ
④ 避難所整備	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ
⑤ 防災倉庫整備	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	ハ	ニ

問 12 災害発生時の避難場所を知っていますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 知っている      2. 知らない

問 13 気象情報・防災情報を得る手段として利用しているものはどれですか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。(複数回答可)

1. 防災行政無線放送  
 2. 電子メール配信(自己申請登録型)  
 3. ツイッター  
 4. ケーブルテレビ文字放送  
 5. その他(具体的にご記入ください) )

問 14 災害に備えて食料や非常用持ち出し品を備蓄していますか。

あなたの状況に近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 両方を備蓄している  
 2. 食料だけ備蓄している  
 3. 非常用持ち出し品だけ備蓄している  
 4. 備蓄を考えている  
 5. 備蓄の予定はない

◆ 今後の公共施設等のあり方について、おたずねします。

※本市が保有する公共建築物は246施設です(平成27年度調査)。

施設等の老朽化に伴い、建替えや大規模改修が必要となる時期が訪れます。

問 15 公共施設等の維持管理、改修費用等の確保が課題となるなか、あなたは、公共施設等の整備を今後どのように進めていくべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

- |   |
|---|
| 1. 公共施設等が不足しているから、新規建設を行い増やしていく             |
| 2. 現状の公共施設等を維持し、同規模での建替えを進めていく              |
| 3. 適正な公共施設等の数、規模を見直し、統廃合を行い、不要な公共施設等は減らしていく |
| 4. 公共施設等は過剰なので、大幅に減らしていく                    |

◆ 男女共同参画についておたずねします。

問 16 次のすべての項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況に近いものを「はい」・「いいえ」のうち、どちらか選び、○印で囲んでください。

① 「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがある	はい	いいえ
② 「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」という言葉を聞いたことがある	はい	いいえ
③ 「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」がとれていると感じる	はい	いいえ
④ ※ <u>ドメスティックバイオレンス(DV)</u> を受けたことがある	はい	いいえ
⑤ 「配偶者暴力防止法(DV法)」を知っている	はい	いいえ
⑥ ※ <u>ドメスティックバイオレンス(DV)</u> に関する相談窓口があることを知っている	はい	いいえ
⑦ 「職場」において、男女の地位は平等だと感じる	はい	いいえ
⑧ 平成29年度中に、育児休業を取得または、取得見込みの男性が同じ世帯にいる	はい	いいえ

◆ 子育て環境について、おたずねします。

問 17 住んでいる地域が子育てしやすいと思いますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 思う
2. どちらかといえば思う
3. どちらかといえば思わない
4. 思わない

問 18 市の子育て支援体制に満足していますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 満足している
2. まあ満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

○ 小学生・中学生のお子さんをもつ方におたずねします。

問 19 学校環境に満足していますか。

あなたのお考えに近いものをいずれか1つ選び、○印で囲んでください。

1. 満足している
2. まあ満足している
3. ふつう
4. やや不満である
5. 不満だ

◆ 生涯学習について、おたずねします。

問 20 あなたは「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 聞いたことがあり、内容も理解している
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない
3. 聞いたことがない

問 21 あなたはこの1年くらいに「生涯学習活動」を行ないましたか。

行なった方は、その目的や理由にあてはまる番号を○印で囲んでください。

1. 行なっていない
2. 人生を豊かにするため
3. その活動が好きだから
4. 地域や社会をより良くするため
5. その他(具体的にご記入ください: )

◆ 地区公民館を多くの方に利用していただくため利用状況をおたずねします。

問 22 あなたは、「教室・講座」、「体育祭・公民館まつり」など地区公民館事業に参加したことがありますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことがない |
|--------------|--------------|

問 23 あなたは、サークル活動や会議などで地区公民館施設(部屋)を利用したことがありますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 利用したことがある | 2. 利用したことがない |
|--------------|--------------|

○ 「参加したことがある」、「利用したことがある」と答えた方におたずねします。

問 24 地区公民館を、どのくらいの頻度で参加・利用していますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1. 週に数回 | 2. 月に数回 | 3. 年に数回 |
|---------|---------|---------|

○ 「参加したことがない」「利用したことがない」と答えた方におたずねします。

問 25 参加・利用しない理由を次の中から選び、あてはまる番号を○印で囲んでください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 仕事・育児などで時間がない      |
| 2. 希望する講座・教室がない       |
| 3. 公民館までの交通手段がない      |
| 4. 関心・興味がない           |
| 5. 公民館があることを知らなかった    |
| 6. その他(具体的にご記入ください: ) |

問 26 参加するとしたら、あなたはどのような教室・講座を希望しますか。

あてはまる番号を○印で囲んでください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 健康・スポーツ            |
| 2. 家庭生活に役立つ技能         |
| 3. 歴史・史跡              |
| 4. 防災                 |
| 5. その他(具体的にご記入ください: ) |

